

第 58 回明大昆虫セミナー

カメムシ類に特有な幼若ホルモンとその機能

小滝 豊美 氏

(農研機構 生物機能利用研究部門)

日時：2019年7月10日(水) 17:10~19:00 頃

会場：明治大学 生田キャンパス 農学部 6-204 教室

カメムシ類は多様な種を含み、様々な農作物に被害を与える農業害虫として、また、害虫を捕食する天敵として、さらには、人を含む動物から吸血し病気を媒介する衛生害虫として、生活に関係の深い昆虫です。昆虫における主要なホルモンの一つ、幼若ホルモン (JH) の研究の歴史は 1930 年代のサシガメの研究に始まり、現在まで連綿と続いています。その発端となったサシガメを含むカメムシ類の JH の構造は、2009 年にやっと解明され、JHSB3 と名付けられました。本セミナーでは、まず、JHSB3 の構造決定までの JH 研究の流れをざっと辿ります。続いて、成虫期における JH の重要な作用である生殖器官の発育促進に関連するトピックスとして、チャバネアオカメムシメス成虫における卵吸収およびオス成虫における生殖付属腺の機能について紹介します。奮ってご参集下さい。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享